

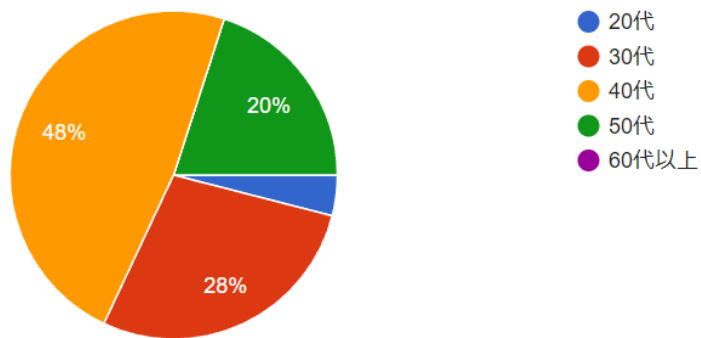


# 一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会 「意思決定支援研修会」アンケート

本日はご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございました。アンケートにご協力をお願い致します。

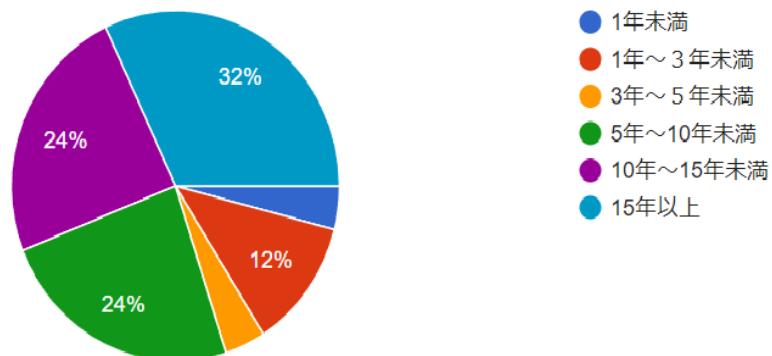
## 1. 年齢

25 件の回答



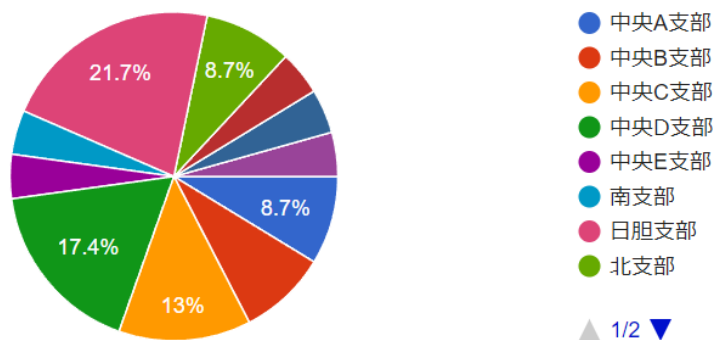
## 2. ソーシャルワーカーとしての経験年数

25 件の回答



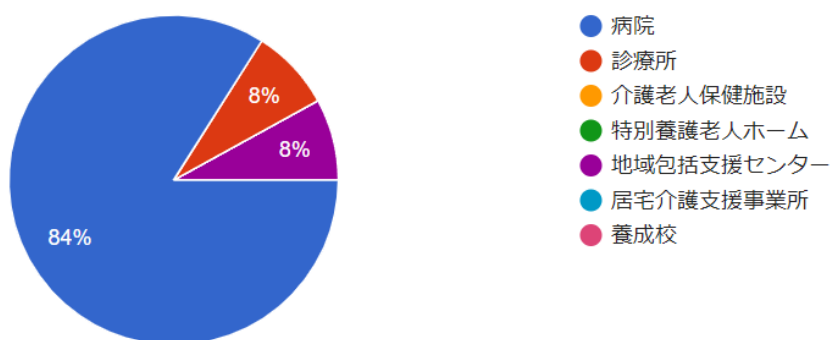
### 3. 会員種別

23 件の回答



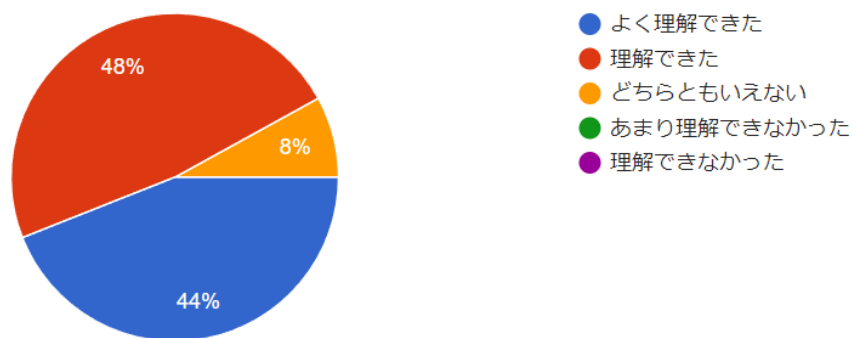
### 4. 所属機関

25 件の回答



5. (1) 講義の理解度について、次のうちあてはまるものにひとつチェックをつけてください。

25 件の回答



5. (2) 上記でそのように答えた理由についても、ご記入ください。

16件の回答

院内で身寄りのない人の支援に関するマニュアルを作っていたので、今日の講義を聞いてガイドラインの背景等が理解できた。もう一度きちんと読み返して十分に理解したい。

説明を省いた部分についても話を聞いてみたかった

法的な部分の考え方と意思決定支援とは何かを改めて考えることが出来た。

法律的な観点から意思決定支援の重要性と医療同意の捉え方を理解することができた

身寄りがない方の医療同意及び退院後の生活支援をするにあたり法的な部分での心配があった。法的な部分について、聞く機会はこれまでなく、熊田先生の話はとても勉強になった。

身元保証について体系がわかり易く解説されていた。

理解が出来たか否かは主観で判断するよりも客観で判断されるものと考えている為、自分の中でいくら理解したつもりでも、つもり止まりの可能性は否定できない。

熊田弁護士のお話が、四角四面の法的な話だけではなく、現実（医療現場）と照らしあわせながらお話をして頂いたので非常にわかりやすかったです。

法的整理を成年後見制度や身寄りなしの方の抱える課題を理解いただいている弁護士さんから伺えたので非常に分かりやすく、実践的であったと思います。

医療現場は人権擁護と人権侵害が表裏一体の現場であることを強く感じた。医療者として、SWとして学びつづける必要のある内容だと思った。理解しただけでなく、実践にどう活かすことができるかよく考えたいと思う。

熊田先生の解説が丁寧でわかりやすかったため、資料にも大事なポイントが書かれていたので、視覚と聴覚とを合わせて理解できました。

自分の知識不足もあり、話の内容があまり明確に伝わってこなかった感じがします。

日々、現場で起こっている事象を法律上の観点から整理することが出来ました。

医療現場は人権擁護と人権侵害が表裏一体の現場であることを強く感じた。医療者として、SWとして学びつづける必要のある内容だと思った。理解しただけでなく、実践にどう活かすことができるかよく考えたいと思う。

熊田先生の解説が丁寧でわかりやすかったため、資料にも大事なポイントが書かれていたので、視覚と聴覚とを合わせて理解できました。

自分の知識不足もあり、話の内容があまり明確に伝わってこなかった感じがします。

日々、現場で起こっている事象を法律上の観点から整理することが出来ました。

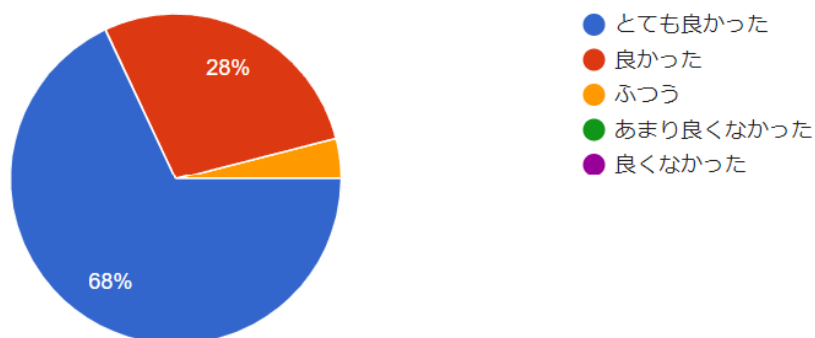
本人の意思確認や同意の根拠となるポイントについて理解できたので。

自身のケースと合わせながら具体的に想像することができた。

実践者の事例報告も踏まえて討議されたのと、座長の保科さんのまとめ方が上手で分かりやすかったです

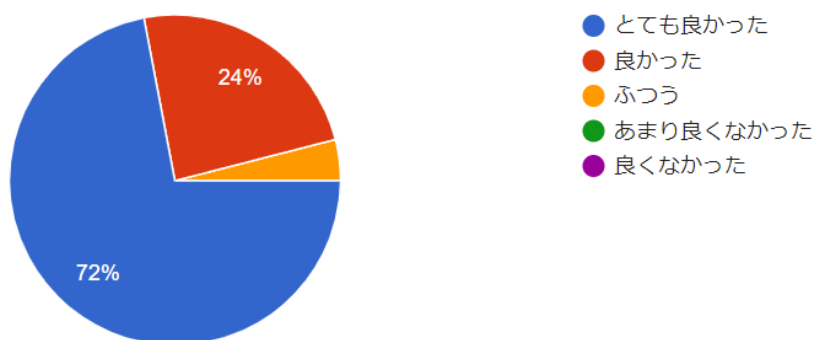
6. (1) 実践報告①について、次のうちあてはまるものにひとつチェックをつけてください。

25 件の回答



6. (2) 実践報告②について、次のうちあてはまるものにひとつチェックをつけてください。

25 件の回答



## 6. (3) 上記でそのように答えた理由についてもご記入ください。

17件の回答

意思決定が困難な患者さんの退院支援に携わることが多かった。今回の発表を聞いて自分のケースでの問題点も明確になった。

実践報告①では急性期での事例について聞く機会があまりなかったので、聞いたことはよかったと思うが、意思決定支援の過程の中でMSWがどのように支援に関わったかが見えにくかった（Drなど医療職が主体で動いたものと想像しながら聞いていました）。  
実践報告②ではMSWのジレンマや考察がとてもよくまとまっていて日々の自身の実践に照らし合わせて具体的にイメージすることができました。

医療機関の取り組みや葛藤がわかった

よくある事例で最近は特に多くなったように感じるが、医療安全の立場からの判断が多く、MSWとして、医療チームとしてこの患者さんならどう考えていたかをちゃんと話し合えているか、MSWの役割は何かを考えることが出来た。

両事例ともに支援に悩むケースだが、院内での支援プロセスを考えることの重要性を学ぶことができる報告だった

発表の仕方や話し方がとても上手で、とてもわかりやすかった。またお二人の困難や支援に対する姿勢が伝わってきた。

急性期で起こりえる事例、退院支援で起こりえる事例と 正答はないものの考えさせられる事例であった。

2ケースとも、過去に似たような経験をしたことがあり、話を聞きながら自分のケースに落とし込んで考えることが出来た。結果、振り返りに繋げることも出来た。今後の参考にしたい。なお、それらの経験は、ベテランSWならば難なく解決してしまうようなケースであって、自分はレベルが低いからこそ悩んでしまうものと考えていた。しかし、そのような訳では無いといった安心に繋げることが出来た。

どの実践報告も研修の主旨に沿った内容であった発表内容であった為。

医療決定権を深めることができ、顧問弁護士との連携や意思表出が困難な方の支援についても伺えとても参考になりました。

SWが支援過程の中でどう悩み、支援展開していったのかわかりやすかった。

それぞれの事例が支援のプロセスがわかりやすかったことと、率直に課題となったことを整理して発表して下さっていたため。

事例の内容が丁寧で経過についてもわかりやすかったです。

日々の支援で直面するSWの課題や迷いが伝わる報告でしたので。

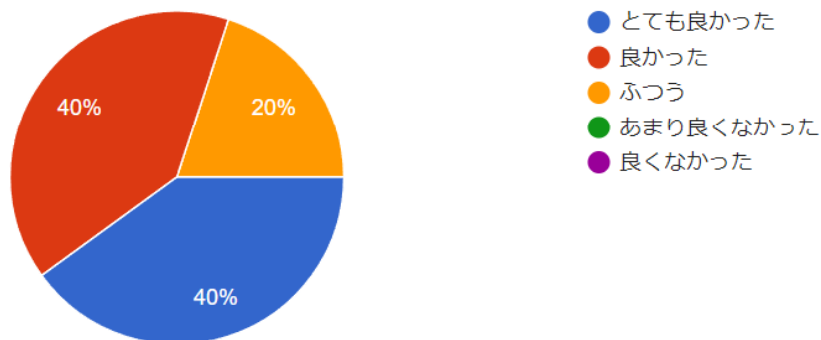
他医療機関でも同じような課題に直面し対応されていることがわかったため

似たようなケースがあるので、自分の今後の業務に役立てることができると感じた

身近にある課題であり、似たような経験をしたため

7. (1) 総合討議について、次のうちあてはまるものにひとつチェックをつけてください。

25 件の回答



7. (2) 上記でそのように答えた理由についても、ご記入ください。

13 件の回答

各ケースにおいての法的な捉え方が理解できたから。メモを取り切れなかったので、できればもう一度聞いてしっかり考えたい。

ACPの理解を深めるため、さらに一步踏み込んだ視点などあればと思う

オンラインでは毎回、発言のしづらさはあるが、司会進行がスムーズだったので、発言者の意見を聞きながら考えることが出来た。  
研修終了後の満足感が得られたため。

医療・福祉の観点だけではなく、法的観点を学べた

日本やドイツに於いて、3回意思を訴えた場合は、すなわちそれが患者の意思として捉えられるという話は、興味深かった。法的根拠が無い話であり、100%活かせる話ではないものの、今後の良い参考に出来そう。どのような角度で勉強しても自力では到底至り得ない考え方であり、この話を聞いたことは大きい。

熊田弁護士が一人一人の実践報告に対して、丁寧に法的見地から助言をされており、一人一人と意見交換する交互作用が見られて大変意義深いと思いました。

実事例をもとにしたフィードバックがありとても分かりやすかったです。自院と照らし合わせて動くには咀嚼に時間が必要と感じました。

資料と解説を一つ一つ確認しながら聞けました。

質問の内容も明確になっていたのでも分かりやすかったです。

法律的な観点から事例の意見を伺えたので参考になりました。

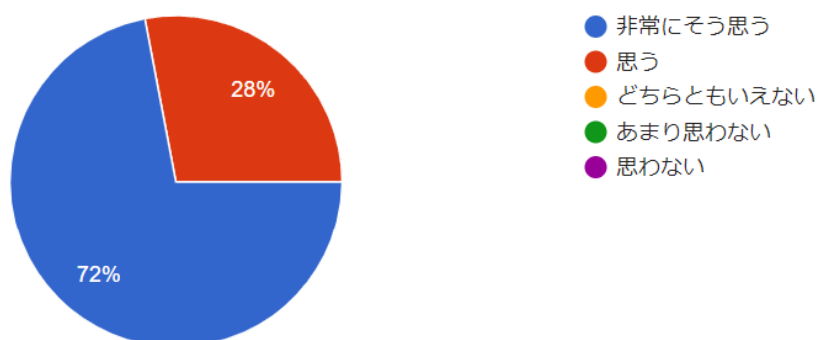
各事例に対する熊田先生の見解を拝聴することで、不安な部分が解決できたと感じたため

さらに理解を深めるきっかけになった

実践報告の内容の疑問点に即した内容だったため

## 8. (1) 本研修を受講し新たな気づきや振り返りとなる点はありましたか。

25 件の回答



## 8. (2) その理由をご記入ください。

16 件の回答

当院は癌等により入退院を繰り返す患者さんが多いが、最初の頃からACPを確認できるような関わりができていなかったなと反省した。また、MSWが患者さんの希望を聞き検討しようとしても、医師や看護師に話を聞いてもらえないことも多く、院内全体でACP等、患者の意思決定を支える体制を作っていく必要性も感じた。

医療機関だけではなく在宅で支援している包括や居宅CM等との共有や連携が今後より重要となると改めて感じた



MSWは退院支援(最近は調整だけ)を頑張ればいいと思っている新人も増えている。退院支援はMSWの業務の一部ではあるが、面接を通して患者、家族の思いを確認することの基本を忘れないようにしたい。  
また、患者家族だけでなく、院内外の人や機関の思いを聞き取り、伝え、繋ぐ役割であることをも忘れずに業務に取り組みたいと改めて思うことが出来た。

支援にむけた院内での取り組み、行政や法律関係者との協働を考えるきっかけとなった

過去のケースと当てはめて、法的観点から振り返ることができた。

今後の業務に生かしたいと思います。

自分のこれまでの関わりが「説得」になっているのではという点を振り返ることができた。

患者側に意思決定を促すに当たって、SWの説明及び選択肢の提示がまだまだ弱いと考えさせられた。また、説明と説得とが曖昧になっていることが多いことにも気が付かされた。説明の延長線上に説得があつて、その上で、沢山の選択肢から一択二択程度まで絞って誘導する形を取っていることが数多く有り、見つめ直す良い機会となった。

身寄りのない方の支援をMSWは当然に行う時代になった一方で、法的なリスク（合法か違法か）を自覚しながら取り組む必要がある事を再認識できました。

SW部門、院内、地域連携それぞれに応じた対応が重要であると思いました。

ラダーレベルには通していないが、とても学びになった。経験年数が少ないからといい、身寄りのないケースに出会わないわけではなく、SWとしてどのようにあるべきなのか考えさせられた。

法的な根拠を改めて教えて頂いたことで、より今後の課題を認識することができました。

身寄りのない方に関しての取扱いについてグレーゾーンが少しくリアになったと感じています。

自分の支援の判断や院内の他のスタッフと協議する際に本日の内容を踏まえ、特に法的根拠は意識して取り組んでいきたいと思いました。

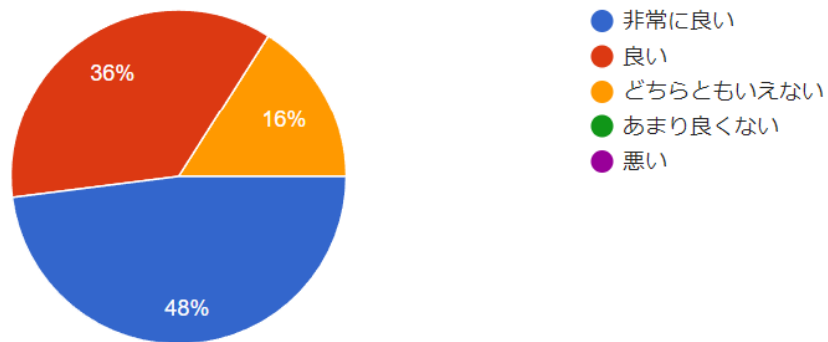
これまで対応した事例と今回の講義の内容を当てはめて考えることができ、本人の意思決定への関わりが間違っていなかったことを確認できた。

プロセスをきちんと記載していくことの重要性を知ることができた



9. 本日の研修についてお伺いします。運営の段取り、見やすさ・聞きやすさなどはいかがでしたでしょうか。次のうちあてはまるものにひとつチェックをつけてください。

25 件の回答



今後の研修運営などご希望を自由にご記入ください。

8 件の回答

いつもありがとうございます。

土曜日のZOOM研修で特に単位を必要としない場合はカメラ無しでの参加も容認して欲しいです。

研修の企画・運営ありがとうございました。

お疲れさまでした。

熊田先生のご講義も実践報告のお二方のお話もとても参考になった。意思決定支援の研修は今後も続けてほしい

ソーシャルワーク実践を行っていく上で必要な研修かと思えますのでぜひ今後も続けて企画して頂けると幸いです。運営面、大変お疲れ様でした。そして熊田先生の講義が大変分かりやすく、人柄としても型にはまり過ぎずかみ砕いてお話をして頂けるので大変良かったです。

申込みから大変お世話になりました。とても重要なテーマで開催いただき感謝いたします。引き続き同一テーマで研修開催を検討いただけると嬉しく思います。

希望は特にありません。